

第4学年 道徳科学習指導案

日 時 令和3年 11月25日(木) 5校時
児 童 4年1組 男11名 女9名 計20名
授 業 者 両川 真利

- 1 主題名 素直な心をもって (A 正直, 誠実)
- 2 教材名 休み時間のできごと (「新・みんなの道徳 4」 学研)

3 主題設定の理由

(1) 児童について

学級の児童は、男女関係なく、様々な友達と遊び、学習も共に努力することができる。過った行動をしたときには正直に話すことが大切なことも理解しており、正直に話してくれることが多い。しかし、自分がやってはいけないことをしてしまったことには気付いているが、自分が叱られないように、他の友だちに責任転換をしたり、ごまかしたりしようとする姿が見られることもある。

事前アンケート『もし廊下にある6年生の作品を、ついさわって壊してしまったら、どうしますか。』を実施し、価値への意識づけを行う。結果は以下の通りである。

自分が壊したとき	
正直に言う・・・20人	正直に言わない・・・0人
理由	<input type="radio"/> 正直に言ってあやまったほうがいいから。 <input type="radio"/> 正直に言わないともやもやするから。 <input type="radio"/> かくしていてもいつかはバレるから。
友だちが壊したとき	
正直に言う・・・17人	正直に言わない・・・3人
理由	<input type="radio"/> 自分で言うのもつらいと思うから、見ていたら言ってあげたい。 <input type="radio"/> 正直に謝れば、許してもらえと思うから。 <input type="radio"/> 一緒に謝りに行く。 <input checked="" type="radio"/> 壊された人は、自分で言ってもらいたいと思うから、言わない。 <input checked="" type="radio"/> 友達が正直に言いたくないかもしれないのに、人に言われて嫌な思いをするかもしれないから。 <input checked="" type="radio"/> 友達だけ怒られるのはかわいそうだから。

これらの実態から、ついうそをついてしまう気持ちを考えさせたり、葛藤を乗り越えたときの気持ちを考えさせたりすることで、正直であるからこそ、明るい心で伸び伸びとした生活が実現できることに気付かせたいと考える。

(2) 道徳的価値について

学習指導要領第3学年及び第4学年の内容の「A 主として自分自身に関すること」の「正直・誠実」は、「過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること」とある。この内容項目は、次のように発展していく。

低学年 うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。	中学年 過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。	高学年 誠実に、明るい心で生活すること。	中学校 自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。
--	---------------------------------	-------------------------	--

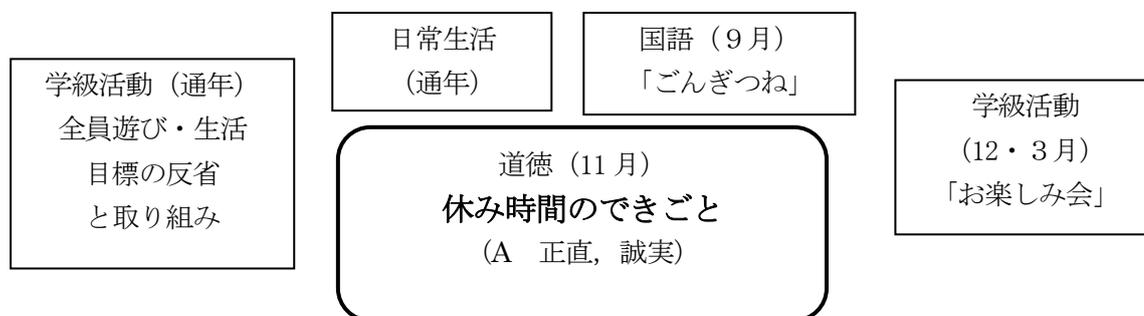
過ちや失敗は誰にも起こり得ることである。そのときに、自分自身が責められたり、不利な立場に立たされたりすることを回避しようとしてうそを言ったり、ごまかしたりすることがある。しかし、そのような振る舞いはあくまでも一時しのぎに過ぎず、真の解決にはならない。さらに、友だちの信頼を失うばかりか、自分自身の中に後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じる状態になるということを感じ取らせたい。それらを乗り越えようとするのが正直な心であり、自分自身に対する真面目さであり、伸び伸びと過ごそうとする心のすがすがしい明るさでもあることから、正直であるからこそ、明るい心で伸び伸びとした生活が実現できることを理解させ、児童それぞれが元気に生活できる心情を育てることが大事であると考えられる。

(3) 教材について

本教材は、うそをついてしまった後、葛藤を乗り越え正直になれた明日香と未来の気持ちを考えることを通して、ねらいに迫るものである。正直にすべきであると誰もが分かる場面で、ついうそをついてしまう気持ちを考えさせたり、葛藤を乗り越えたときの気持ちを考えさせたりすることで、正直であることの大切さを考えられる教材である。

児童にとって「ついうそをついてしまう」という日常的に起こりうる身近な出来事が描かれており、正直であることの大切さを自分事として考えやすい教材であることから、自分が叱られないように、他の友だちに責任転換をしたり、ごまかしたりしようとする姿が見られることもある本学級の児童にとって効果的な教材である。

4 主な各教科等との関連



5 本時の指導

(1) ねらい

うそをつくことの気まずさや葛藤について考えることを通して、正直に行動するすがすがしさを感じ、正直であることを大切にしようとする心情を育てる。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の意図・留意点
つかむ 7分	1 教材への関心を高める。 ○事前アンケートの結果を掲示する。	<ul style="list-style-type: none"> 正直に言ってあやまったほうがいいから。 隠していてもいつかはバレるから。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前アンケートの結果を掲示し、価値についての意識付けを図る。
ふかめる 30分	2 教材を基に、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 教材文を読む。 心に残ったことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 廊下を走ってしまったこと。 うそをついたこと。 最初はうそをついてしまったけど、後から先生に言えてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 心に残った場面を考えながら聞くようにさせる。 心に残った場面をもとに学習課題を設定する。
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">なぜ、未来は先生に話しに行こうと思ったのだろう。</p> <p>○未来くんはどうして「はい。」と言ったのでしょうか。</p> <p>○うそをついてしまったことが、授業中も未来くんの頭から離れないのはなぜでしょう。</p> <p>◎未来くんは、どうして先生に話しに行こうと思ったのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 明日香さんがかばってくれたから。 正直に言うと、明日香さんのウソがバレてしまうから。 正直に言わなくて、もやもやする。 ウソをつかなきゃよかった。 バレたわけではない。 わざわざ怒られにくいのも嫌だな。 やっぱり正直に言うべきだ。 うそをついているのは嫌だ。 もやもやした気持ちのまま生活したくない。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手のことを考えてうそをついたことに気付かせ、二人が、というそをついてしまった理由を押さえる。 未来の気持ちを全体で深めるために、心情円盤を使って児童の考えを把握し、意図的に指名していく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 3人グループで交流する。 さらに考えを深め合うために全体交流を行う。 葛藤を乗り越え正直にできたよさに気付かせる。 </div>

	○先生に話しに行った後、カレーライスをいつもよりおいしく感じたのはなぜでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・すっきりしたから。 ・正直に言えたから。 ・言ってよかったと思ったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その日のカレーが特別なものではなかったことを確認する。 ・正直にできたことがおいしさの理由になっていることに気付かせる。
みつめる5分	<p>3 道徳的価値の内面的自覚を深める。</p> <p>○今まで正直に話してよかったことや、今までの自分の生活を振り返りながら、今日学んだことについて書いてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分はこれまで、正直に話そうと思っていたけど、正直に話せなかったこともあったので、先生に話しに行こうと思った未来のように正直に話せるようにしたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習について、正直であることを大切にしようとする心情が高められるよう、自分の生活を振り返らせながらまとめさせる。
ひろげる3分	<p>4 今後の実践につなぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の振り返りを交流する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友達の振り返りを聞くことで、より理解を深める。

(3) 評価の視点

- うそをつくことの気まずさや葛藤する思いを考えることで、正直や誠実について多面的・多角的に考えていたか。
- 正直に行動するすがすがしさを感じ、正直であることの大切さについて、自分との関わりで考えていたか。

(4) 板書計画

